

## 活動内容

ゴミ出し・買い物・掃除・話し相手・草取り・庭木の剪定  
電球交換・家の中の修繕・葉取り・花の水やり・衣替えや模様替え  
その他軽作業

## 活動までの流れ

受付対応場所 専用携帯電話

マッチング方法 電話で状況を聞き取り（必要に応じて事前訪問）、なるべく依頼者の近隣のボランティアで調整する。

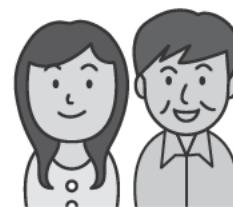
活動時のルール 原則1名で対応するが、作業内容や状況に応じて複数人で対応する。

- ・ありがとうございます。心強いです。安心して生活ができます。
- ・このような活動があるということを早く知りたかったです。



利用者の声

- ・利用者が大変喜んでくれること。
- ・低額・有償の活動であるため、利用者・活動者がともに心から感謝しながら活動ができること。



活動していく  
よかったですと思うこと

## 課題と今後の目標

- ・これからの会の運営をしていく人材をいかに育成していくかが課題である。
- ・会の認知度を上げるPRを持続し、活動内容を向上させていくとともに、多くの口コミにより利用者数を増やしていきたい。
- ・校区内の各団体や校区住民から「何か困ったことがあつたら『たすけ愛隊』に相談してみよう」と頼りにされるグループになりたい。
- ・見守りや防犯、防災などの活動とも連携しながら、校区の支え合いを広げていきたい。

お困り事、ございませんか？

**たすけ愛隊**  
がお手伝いします！

ちょっとしたごとくもんでも  
誰かがいてくれればいいから…

→ 300円  
/30分 で解決します！

★電球の交換 ★家具類の移動 ★ゴミ出し  
★買い物代行 ★花の水やり ★庭木の剪定  
★葉取り、草刈り ★その他の軽作業 等など

お困り事、ございませんか？ 南庄地区に居住する高齢者・障がい者の方など  
お気軽にお電話ください！

南花園地区 生活支援グループ「たすけ愛隊」専用受付電話



問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）





南区若久校区

## 若久おたすけ隊

### ・活動目標・

地域高齢者の困りごとに対応する

### 概況

結成時期 平成24年8月

活動地域 若久小学校区内

ボランティア数 32名（男性14名・女性18名）

活動対象 高齢者 活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 有料  
・1回100円

活動実績(月平均) 依頼件数 4件 / 活動件数 3件

規約・会則の有無 有

南区若久校区

人口 11,235名

高齢化率 17.9%

### 活動地区の特色

校区内を通称・大池通りと若久通りという大きな道路が通っている。また、医療機関の数が比較的多い地域である。

ふれあいネットワーク活動が17自治会全町で実施されており、ふれあいサロンは校区内2か所で活動している。

### 活動開始のきっかけ

団塊の世代が集まり、何か役立つことを始めようと思ったこと。

### 立ち上げまでの流れ

月1~2回会議を行い、メンバーで話し合いを重ね、立ち上げに至った。



## 活動内容

電球交換・その他（カーペットの移動、軽度な家具の移動等）

## 活動までの流れ

受付対応場所 専用携帯電話

マッチング方法 依頼内容や作業時間に応じてボランティアを調整する。

活動時のルール 必ず2名で訪問するようにしている。

- 安心してお願いすることができます。
- 作業がきっかけで、あいさつが気軽にできるようになってうれしいです。

利用者からありがとうの言葉を  
いただくこと。



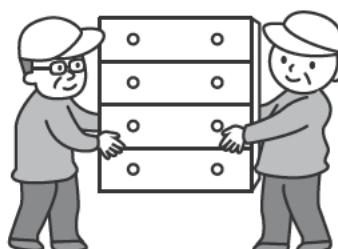
利用者の声



活動していく  
よかったです

## 課題と今後の目標

- 広報の仕方に課題がある。また、活動内容の拡大に向けて取り組んでいきたい。



問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）





南区高木校区

## 高木手足の会

### ・活動目標・

高齢者の困り事解消の支援を行うことにより、校区内の高齢者の安全と安心を推進する。

### 概況

結成時期 平成25年12月

活動地域 高木小学校区内

ボランティア数 26名（男性22名・女性4名）

活動対象 高齢者 活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 有料  
・1回100円（+材料費は実費負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 5件 / 活動件数 3件

規約・会則の有無 有

南区高木校区

人口 8,471名

高齢化率 17.3%

### 活動地区の特色

単身世帯と子育て世帯が多く、働き盛りの世代が多い校区である一方、古いアパートや戸建て等に高齢者も多く暮らしており、高齢化も進んでいる。

校区の地域福祉活動としては、ふれあいサロン活動が3か所で実施されているほか、校区内を3ブロックにわけて、ふれあいネットワークが町内会長・民生委員・ボランティアの連携のもと実施されている。

### 活動開始のきっかけ

以前校区内の団地で生活支援ボランティアグループが立ち上がったが、依頼がなく活動が休止したことから、校区社会福祉協議会の内部組織として校区全体に範囲を広げたグループを再度立ち上げることになった。

### 立ち上げまでの流れ

校区社会福祉協議会の総会で承認を得て、校区社協会長推薦の委員による準備委員会を設置し、5回の準備委員会の協議を経て発足した。

## 活動内容

電球交換 ・ 家具の移動 ・ 荷物の上げ下ろし ・ 空調のフィルター清掃

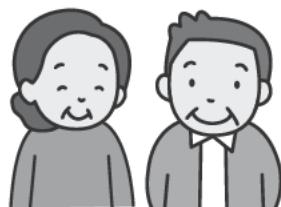
## 活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 事務局で依頼を受け、ブロックの代表者に連絡し、ボランティアを調整する。

活動時のルール 原則2名で訪問するようにしている。

身近な場所に気軽に相談できるようになり、安心感があります。



利用者の声

困っている人が、思っていた以上に多くいるのだと気づけたこと。



活動していく  
よかったです

## 課題と今後の目標

- 今後、どのような範囲まで活動していくか検討していかなければならない。買い物支援など、取り組んでいくようなものを検討し、住民のニーズに柔軟に対応していきたい。
- 校区内の店舗に協働を呼びかけていきたい。

高木校区社会福祉協議会  
**「高木手足の会」**

高齢者の困り事のちょっとしたお手伝いをいたします。

対象者：  
高木校区に住む概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者及び概ね70歳以上の高齢者夫婦世帯

こんな事で  
使っていませんか？

- 電球の交換
- 家具の移動（2人で搬出出来ない場合）
- 空調のフィルター清掃
- 高木校区内ある荷物の上げ下ろし  
ご迷惑  
ください

高木校区社会福祉協議会「高木手足の会」  
事務局（高木公民館内）  
TEL  
お気軽にお問い合わせください！

【これまでの活動実績（1/20現在）】  
・高木のかさの上にこまつはこりの掃除  
・高木のかさの掃除

★「高木手足の会」ご利用上の留意点★  
①受付時間：月～金 午前10時～午後4時  
(年末年始はござります。)  
②費用：100円（電球交換等の場合、実費負担）  
③訪問時間：ご相談の上、決定させていただきます。

問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）



# ボランティアセンター「のぞみ弥永」

## ・活動目標・

誰もが安心して暮らせる地域、これからもずっと住んでいたい地域を作る。

## 概況

**結成時期** 平成16年1月

**活動地域** 弥永小学校区内、必要と判断した場合は校区外も対応

**ボランティア数** 38名（男性8名・女性30名）

**活動対象** 活動地域内の全住民 **活動日** 特に制限はない（年末年始は対応不可）

**利用料** 無料（材料費・交通費等の実費は利用者負担）

**活動実績(月平均)** 依頼件数 10件 / 活動件数 10件

**規約・会則の有無** 有

**南区弥永校区**

人口 6,589名

高齢化率 29.2%

## 活動地区の特色

全世帯の2分の1が築45年を経過した団地で、住民も独居高齢者も多い。

ふれあいネットワーク活動は、11自治会全町で実施している。また校区内で2つのふれあいサロンが活動している。

## 活動開始のきっかけ

公民館でのボランティア講座がきっかけで発足。団地等での孤独死の問題もあり、「地域を元気に、ボランティアはできることからコツコツと」をモットーに活動を開始した。

## 立ち上げまでの流れ

他団体等との情報交換を行い、チラシを作成。活動に向けて協力の呼びかけを行っていった。



## 活動内容

ゴミ出し・買い物・外出支援・掃除・話し相手・草取り  
庭木の剪定・電球交換・家の中の修繕・子育て支援  
託児（子育てサロンの手伝い）

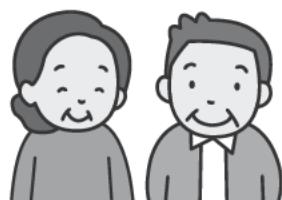
## 活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 基本的には、月例会で調整を行う。

活動時のルール 買い物や金銭の扱いが生じる場合は、必ず2名で訪問するようにしている。

- 安心していろいろなことをお願いできて、とても助かっています。
- ひとり暮らしで電球の取り替えができず困っていたとき、すぐに対応してもらい、安心しました。



利用者の声

- 利用者から感謝の言葉をもらったり、笑顔に接したりすること。
- 利用者が、校区行事に参加されたり、公民館にあいさつに来られるようになること。



活動していく  
よかったです

## 課題と今後の目標

- 結成11年になり、継続した活動を続けていくことの大切さを感じている。地域住民から気軽に声をかけてもらえる団体として、長く活動していきたい。
- ボランティアも高齢になってきたので、若い世代の協力を呼びかけ、講座等にも力を入れていきたい。



問い合わせ先

福岡市南区社会福祉協議会（電話：092-554-1039）





城南区七隈校区

## ふれあいサポート

### ・活動目標・

住み慣れた地域で安心・継続して生活できる地域づくりを行うため、公的サービスでは対応できない福祉ニーズに対して、地域住民の参加によるサービスを低額・有償で提供する、会員制の新たな助け合い・支え合い活動を行う。担い手として、団塊の世代をはじめ、経験豊かで元気なシニア世代を中心とした地域住民の有志で組織された自治会・町内会単位の団体とし、各種団体と連携して地域に根ざした継続性のある活動を目指す。「ふれあいネットワーク」及び「各サロン」活動との連携を密にし、重層的な見守り・支援につなげる。また、この活動を通じて、シニア世代の生きがいを高め、仲間作りを進め、地域における新たな連帯の輪を広げることを目指す。

### 概況

結成時期 平成25年7月

活動地域 七隈小学校区内

ボランティア数 54名（男性39名・女性15名）

活動対象 高齢者等 活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 有料

・30分350円（+材料費等は実費負担）チケット制（10枚つづり）  
・入会金1,000円

活動実績(月平均) 依頼件数 3件 / 活動件数 2.5件

規約・会則の有無 有

城南区七隈校区

人口 12,823名

高齢化率 21.8%

### 活動地区の特色

校区内に大学や大学病院があり、豊かな自然に恵まれた住宅街である。戸建てが多い校区であり、高齢化率は高い。ふれあいネットワーク活動が全町内で実施されており、班会議や推進会議が活発に行われている。ふれあいサロンは6箇所で実施されており、町内単位によるサロン開催となっている。

### 活動開始のきっかけ

ある地域役員が超高齢社会に関する新聞記事を目にしたことがきっかけで、校区社会福祉協議会や自治協議会等で高齢者に対する互助活動の取り組みについて話し合われこととなった。

### 立ち上げまでの流れ

平成23年度から検討委員会が開催され、活動概要の説明や他地区の活動の調査を進めた。24年度に校区社協の事業として位置づけられ、その後各町内での説明会や広報活動を開始した。また地域住民を対象にボランティア講座を実施した。25年度から、体制が整った町から活動を開始した。

## 活動内容

ゴミ出し ・ 外出支援 ・ 話し相手 ・ 草取り ・ 庭木の剪定 ・ 電球交換  
窓ガラス拭き ・ 模様替え ・ 家具組立 ・ 包丁研ぎ ・ 花木の水やり

## 活動までの流れ

受付対応場所 代表者等の個人宅

マッチング方法 会員から連絡窓口に依頼が入り、原則町内の支援会員の中から対応可能な会員を選定する。その後日程調整を行い、活動に入る。

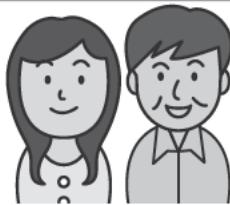
活動時のルール 会員証を携帯し、ユニフォームを着用する。

- ・他のサービスよりも低額で利用できるため、金銭的に安心です。
- ・町内の方が活動してくれるので、顔がわかり安心できます。
- ・チケット制のため、支払いが楽で、依頼しやすいです。



利用者の声

- ・町内の高齢者のお役に立てたという達成感があること。
- ・向こう三軒両隣のように、校区や町内の住民同士の繋がりが深まったこと。
- ・町内の役員が連絡窓口になっていることが多く、町内の状況が把握できるようになったこと。



活動していく  
よかったです

## 課題と今後の目標

- ・運営費の不足、校区内の高齢者への事業の浸透度が低いこと等の課題がある。
- ・初年度の活動状況及び成果をふまえ、課題改善のための協議を重ね、本事業を発展させていくとともに、他機関との連携により、利用者を発掘していきたい。
- ・本事業から得られるノウハウや課題を参考に、福岡市内の他地域でも取り組めるよう、手法として確立していきたい。



問い合わせ先

福岡市城南区社会福祉協議会（電話：092-832-6427）





早良区原西校区

## 原西おせっ会

### ・活動目標・

地域高齢者及びこれに準ずる方が日常安心して暮らすことができるよう  
に、ボランティア活動により、支え合いのある町づくりをしていく。

### 概況

結成時期 平成24年12月

活動地域 原西小学校区内

ボランティア数 39名（男性19名・女性20名）

活動対象 高齢者・障がい者：  
その他高齢者に準ずる人 活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 無料（材料費等の実費は利用者負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 2件 / 活動件数 1件

規約・会則の有無 有

早良区原西校区

人口 11,167名

高齢化率 22.0%

### 活動地区の特色

町数20町からなる校区で、今後数年でさらなる高齢化が予想されているが、地域に貢献したいと考える人が多く、見守り活動やサロン活動などが盛んに行われている。

### 活動開始のきっかけ

公民館で、「一人暮らしの高齢の方は電球の交換など困っているのでは?」「地域で何をしていいかわからず、時間を持て余している人がいるのでは?」という話が出て、二つを結びつける「ボランティア養成講座」を始めたことがきっかけとなった。

### 立ち上げまでの流れ

平成23年度にボランティア養成講座を4回シリーズで開催、24年度には毎月講座を開催した。学習会や打ち合わせを行い、また、実行委員会を立ち上げ具体的な活動について話し合っていった。



## 活動内容

ゴミ出し ・ 話し相手 ・ 電球交換 ・ 季節ものの入れ替え

## 活動までの流れ

受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 公民館が会の代表に連絡し、ボランティアを調整する。（なるべく依頼者の近隣から探す）

活動時のルール 必ず2名で訪問するようにしている。依頼を断る際は、なるべく直接会って断るようにしている。

思い切って頼んでみてよかったです。



利用者の声

依頼者から、喜んでもらえることはもちろん、ボランティアする側の生きがい作りにもなっていること。



活動していく  
よかったですと思うこと

## 課題と今後の目標

このまま無償で続けていくのか、受け入れ間口を広げるのか、広報をどのようにしていくかなどの課題がある。もっと気軽に頼んでもらえるように工夫したい。



問い合わせ先

福岡市早良区社会福祉協議会（電話：092-832-7383）



# 原南自治会福祉会「たのまん会」

## ・活動目標・

町内で困っている人の手助けを行う。

## 概況

**結成時期** 平成23年8月

**活動地域** 原南団地 町内

**ボランティア数** 11名（男性11名）、1団体（建設会社）

**活動対象** 活動地域内の全住民（高齢者優先） **活動日** 主に第2・4日曜日（年末年始は対応不可）

**利用料** 有料

- ・包丁研ぎ1本300円等の基本料金設定あり
- ・材料費等の実費は利用者負担

**活動実績(月平均)** 依頼件数 2件 ／ 活動件数 2件

**規約・会則の有無** 有

早良区賀茂校区

人口 10,167名

高齢化率 21.3%

## 活動地区の特色

戸建て約150世帯で形成された団地。高齢化率は30%近くになりつつあるが、町内の結束力が強く、助け合いの精神が浸透している。

## 活動開始のきっかけ

先々代町内会長が高齢化に対応したサービスの必要性を思って発案したのがきっかけとなった。

## 立ち上げまでの流れ

町内会の回覧版でボランティア参加者（応募者の得意分野など）を募集し、応募者が話し合って活動日等を決めていった。



## 活動内容

草取り・庭木の剪定・電球交換・水道コマ交換・自転車パンク修理  
包丁研ぎ・古紙運搬

## 活動までの流れ

受付対応場所 注文書を町内会集会所のポストに投函して申込み

マッチング方法 申し込みのあった家に連絡をとり、日程を調整する。

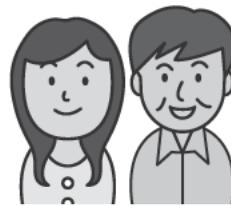
活動時のルール 原則2名以上で対応する。

頼みたいときに対応してもらえるので助かっています。



利用者の声

ささやかではあるが、地域の連携の絆となっていること。



活動していて  
よかったです

## 課題と今後の目標

申込者が少ないため、PRに力を入れていきたい。



問い合わせ先

福岡市早良区社会福祉協議会（電話：092-832-7383）





早良区四箇田校区

## 楽まれ隊（たのまれたい）

### ・活動目標・

支え合い・助け合いのある四箇田校区を目指して、校区内にお住まいの高齢者の方々のお手伝いをする。町内で困っている人の手助けを行う。

### 概況

結成時期 平成25年10月

活動地域 四箇田小学校区内

ボランティア数 19名（男性16名、女性3名）

活動対象 高齢者

活動日 特に制限はない

利用料 有料

・1回100～500円（活動内容によって異なる）

規約・会則の有無 有

早良区四箇田校区

人口 7,999名

高齢化率 24.0%

### 活動地区の特色

早良平野の中にマンモス団地が建ち、その周辺に新興住宅地が点在している。  
近年高齢化が急速に進んでいる。

### 活動開始のきっかけ

公民館主催の養成講座がきっかけとなって発足した。

### 立ち上げまでの流れ

平成25年度に、公民館・自治協議会・校区社会福祉協議会の共催で、養成講座を3回実施。講座受講生が中心となり立ち上がった。



## 活動内容

ゴミ出し・話し相手・電球交換・代読・代筆・家具移動・古紙運搬

## 活動までの流れ

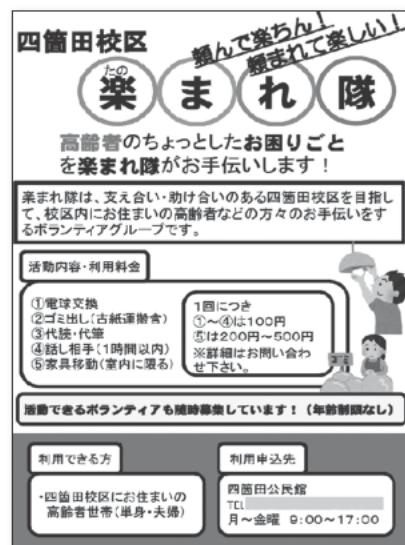
受付対応場所 公民館（電話受付）

マッチング方法 急ぎの依頼は、役員から活動候補者へ電話連絡し、調整する。急ぎでなければ、定例会にて活動者を調整する。できるだけ依頼者周辺の会員で対応する。

活動時のルール 必ず2人で活動する。

## 課題と今後の目標

活動は始まったばかりだが、校区内の各種団体と連携し、支援を強化していきたい。



問い合わせ先

福岡市早良区社会福祉協議会（電話：092-832-7383）





西区西陵校区

## 下山門団地2区お助け隊

### ・活動目標・

独居高齢者などの住民が、少しでも在宅生活が続けられるようにする。

### 概況

結成時期 平成24年10月

活動地域 下山門団地2区 町内

ボランティア数 4名（男性3名、女性1名）

活動対象 活動地域内の全住民 活動日 特に制限はない（年末年始も対応）

利用料 無料（材料費・交通費等の実費は利用者負担）

活動実績(月平均) 依頼件数 1件 / 活動件数 1件

規約・会則の有無 無

西区西陵校区

人口 5,394名

高齢化率 35.4%

### 活動地区の特色

5階建てエレベーター付きの市営団地が3棟の町内で、約110世帯が居住している。

平成25年4月から見守り活動を、7月から集会所でサロン活動を開始している。

### 活動開始のきっかけ

他校区での取組事例を目にする機会があり、自分の町内でもやってみようと思った。

### 立ち上げまでの流れ

区社会福祉協議会の地域担当職員から他校区の事例などの情報提供を受け、自治会長が内容を固め、自治会役員に協力を依頼し、立ち上がった。



## 活動内容

ゴミ出し ・ 外出支援 ・ 話し相手 ・ 電球交換 ・ 家の中の修繕  
家具の移動 ・ 不用品の処分

## 活動までの流れ

受付対応場所 代表者の個人宅・専用携帯電話

マッチング方法 代表者が依頼を受け、棟のボランティアに連絡する。

活動時のルール 金銭の預かりが必要となる活動は行わない。（買い物代行など）

とても感謝しています。



利用者の声

住民が喜んでいる様子を見られること。



活動していく  
よかったです

## 課題と今後の目標

- ・活動がなかなか浸透しておらず、高齢者は遠慮される人も多い。もっとPRして依頼者を増やしたい。
- ・自治会としての活動として位置づけ、役員が代わっても活動が継続されるようにしたい。



### 2区自治会でお助け隊発足！！

日常生活のちょっとした困りごとのお手伝いと、  
町内の交流を図るために実施します。困りごとがある方は連絡を！「お助け隊」が駆け付けます♪

○階段や部屋の電球交換

○家具の移動

○不要品の搬出 など...

ボランティア活動なのでご希望に添えない場合もあります。まずはご連絡下さい。

連絡先：お助け隊長

（自宅）

（携帯）

新規隊員も募集しています♪

ご興味ある方はお気軽にお電話を！

問い合わせ先

福岡市西区社会福祉協議会（電話：092-895-3110）





西区周船寺校区

## 女原お助け隊

### ・活動目標・

活動を通して住民の交流と親睦を図り、住みよい地域づくりを行う。

### 概況

結成時期 平成25年4月

活動地域 女原 町内

ボランティア数 20名（男性10名、女性10名）

活動対象 活動地域内の高齢者 活動日 特に制限はない（年末年始は対応不可）

利用料 無料

活動実績(月平均) 依頼件数 1件 / 活動件数 1件

規約・会則の有無 有

西区周船寺校区

人口 14,177名

高齢化率 17.3%

### 活動地区の特色

区画整理でファミリー向けマンションが建設され、人口が増えてきている。古くからの農村地域と新たなマンション群に分かれている。  
平成23年から集会所でふれあいサロンが実施されている。

### 活動開始のきっかけ

現代表が、仕事を定年退職し時間に余裕が出来たため、町内の高齢者などにちょっとしたお手伝いができるのではないかと考え、仲のいい友達と雑談している中で、構想を練っていった。

### 立ち上げまでの流れ

女原町のふれあいサロン開催時に、主体となる2名が実施に向け協議し、社会福祉協議会の地域担当職員が他地域の事例等を紹介するなどし、実施内容等を決めていった。

活動開始時は、男性ボランティアのみだったが、女性ボランティアが手伝いをした方がよい内容もあるのではないかということになり、現在は女性もメンバー入りしている。